

# Topics

トピックス

## 中期経営計画「MTP2020」の策定

2018年6月

2020年までの長期的な経営ビジョン「世界で存在感のあるスペシャリティ・カンパニー」の実現と、2020年以降の持続的成長に向けた道筋を構築し、世界の患者さんのQOL向上へのさらなる貢献を目指します。

詳細情報 ▶ P.10 中期経営計画「MTP2020」



## 点眼のしやすさを追求したディンプルボトルの提供拡大

2017年7月

薬を適切に使っていただくために自社で開発したディンプルボトルは、使いやすさに関して患者さんから高い評価を得ている医療用点眼剤の容器です。2002年に導入し、2008年にはグッドデザイン賞を受賞しています。米国メルク社から譲受した眼科製品について、2017年7月より能登工場での生産をスタートさせ、日本向け製品のディンプルボトルでの供給を開始しました。今後、EMEA、アジア向け製品の供給を予定しています。



## 世界緑内障週間の活動を拡大・強化

2018年3月

世界緑内障連盟と世界緑内障患者連盟が中心となり、緑内障の啓発を目的として、毎年3月に世界緑内障週間を設定し、世界中で様々な啓発活動を実施しています。参天製薬グループは、世界各地で行われる緑内障疾患啓発活動に協賛しています。2018年はグローバルでの取り組みも強化し、次の活動を実施するとともに、社内向けの啓発活動にも取り組みました。

- ・ 日本：全国96カ所のランドマークなどで行われた緑内障にちなんだグリーンのライトアップイベントへの協賛、薬剤師へのポスター配布による啓発
- ・ 韓国：医療施設向けポスターと患者さん向けリーフレットによる疾患啓発
- ・ フィリピン：緑内障学会による15施設での院内疾患教育への支援
- ・ タイ：緑内障学会への検査用資材の提供のサポート
- ・ フィンランド：タンペレでの市民公開講座の支援



ライトアップされた岡山城

## 国連グローバル・コンパクト(UNGC)に参加

2017年10月

人権、労働、環境、腐敗防止の4分野にわたるUNGCの10原則は、当社の基本理念、企業倫理綱領に通じるもので、これを支持・実践することにより、持続可能な社会の発展に向けた取り組みを推進します。

詳細情報 ▶ P.22 CSR(企業の社会的責任)

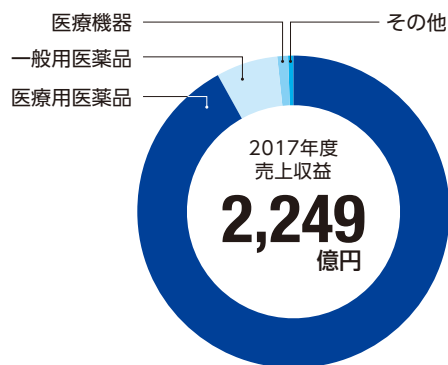
WE SUPPORT



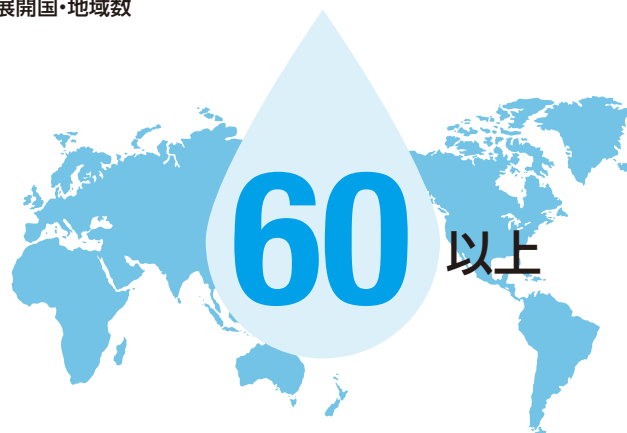
# Facts and Figures

## 事業指標

### 事業別売上収益構成



### 展開国・地域数



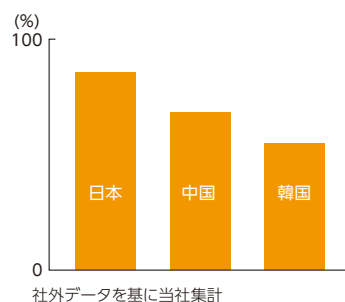
### 点眼剤 年間生産本数



1回使いきりタイプ容器入りの製剤は10個を1本として  
それ以外は実本数で算出しています

### 顧客満足度

当社を1位/2位と評価した眼科医の割合



### 医療用眼科薬市場シェア<sup>1</sup>

日本・韓国

**No.1**

中国

**No.2**

### 事業展開・製品創製の加速に向けた 外部機関との提携



### 創造と革新に向けた新技術の探求

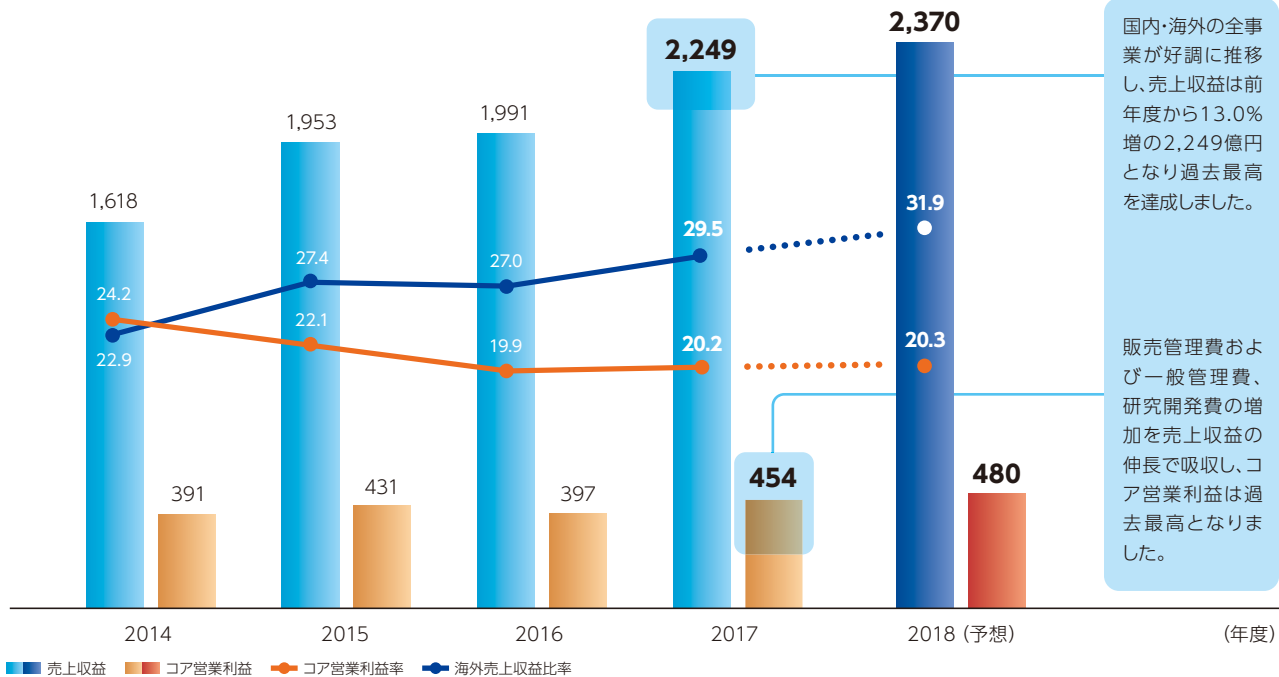


高橋政代先生(国立研究開発法人理化学研究所)／谷内樹生 代表取締役社長兼COO

1. 出典: Copyright © 2018 IQVIA. JPM, MIDAS 2017を基に参天製薬分析 無断転載禁止

財務指標の推移

売上収益、コア営業利益、コア営業利益率および海外売上収益比率  
(億円)(%)



国内・海外の全事業が好調に推移し、売上収益は前年度から13.0%増の2,249億円となり過去最高を達成しました。

販売管理費および一般管理費、研究開発費の増加を売上収益の伸長で吸収し、コア営業利益は過去最高となりました。

詳細情報 ▶ P.44 11年間の要約財務データ

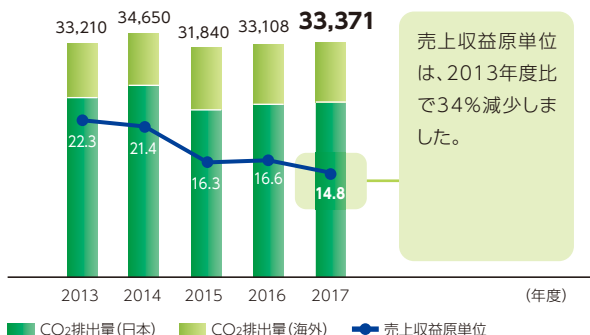
コアベースでの業績指標について

参天製薬は、IFRSによる業績(IFRSフルベース)から一部の収益、費用を控除したコアベースでの財務情報を、経常的な業績を示す指標として開示しています。

非財務指標の推移

CO<sub>2</sub>排出量

(t-CO<sub>2</sub>)(t-CO<sub>2</sub>/億円)

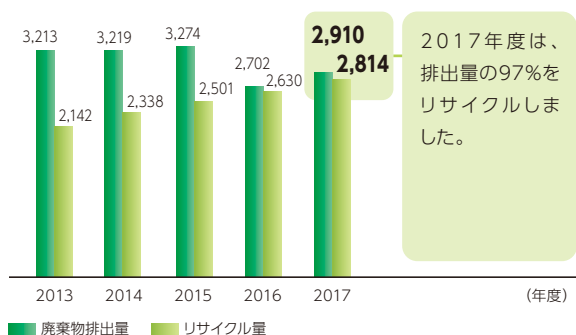


売上収益原単位は、2013年度比で34%減少しました。

集計範囲:国内全事業拠点、タンペレ工場、蘇州工場

廃棄物排出量およびリサイクル量

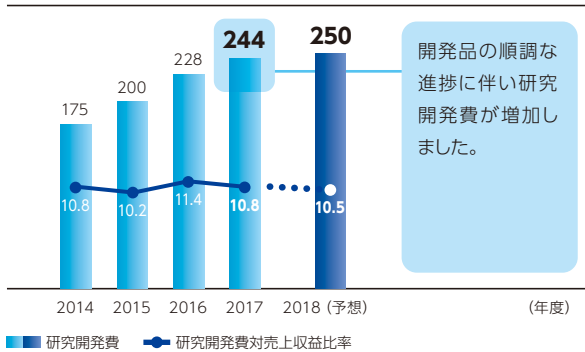
(t)



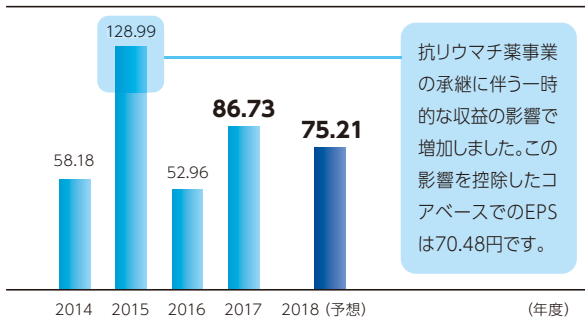
2017年度は、排出量の97%をリサイクルしました。

集計範囲:滋賀プロダクトサプライセンター、能登工場、奈良研究開発センター、下新庄オフィス、タンペレ工場、蘇州工場

## 研究開発費および研究開発費対売上収益比率 (億円) (%)

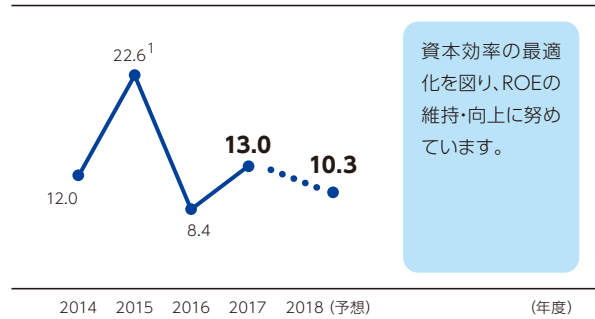


## EPS<sup>2</sup> (円)



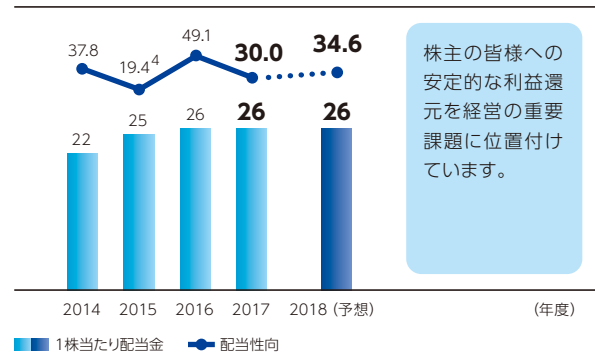
2. 2015年4月1日付で実施した株式分割が、2013年度の期首に行われたと仮定して算定しています。

## ROE (%)



1. 抗リウマチ薬事業の承継に伴う一時的な収益の影響で増加しました。この影響を控除したコアベースでのROEは、12.4%です。

## 1株当たり配当金<sup>3</sup>および配当性向 (円) (%)

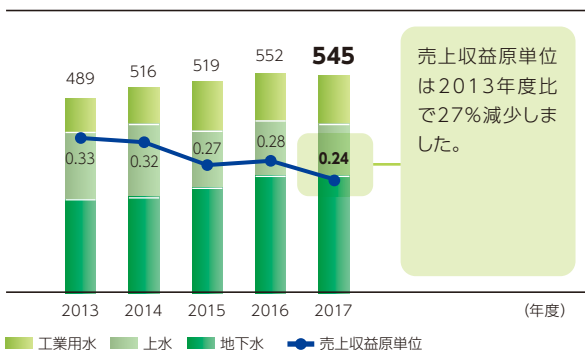


3. 2015年4月1日付で実施した株式分割の影響を適宜調整しています。

4. 抗リウマチ薬事業の承継に伴う一時的な収益の影響で低下しました。この影響を控除したコアベースでの配当性向は35.5%です。

## 水使用量

(千m<sup>3</sup>) (千m<sup>3</sup>/億円)



集計範囲: 滋賀プロダクトサプライセンター、能登工場、奈良研究開発センター、下新庄オフィス、タンペレ工場、蘇州工場

## 従業員数

(人)

